

# HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第 2660 地区)

WEEKLY BULLETIN

No.12

## 東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日  
例 会 日 毎週月曜日 12:30~  
例 会 場 所 シェラトン都ホテル大阪3F  
事 務 局 東大阪市小阪本町1丁目5-14  
〒577-0802 小阪本町ロイヤルハイツ405号  
TEL: 06-6753-8823  
FAX: 06-6753-8826  
E-mail: jahcrc@gmail.com



会 長 佐井 義 昌  
会 長 ノ ミ ニ 岡 本 慎 一  
副 会 長 佐 藤 三千秋  
幹 事 浅 野 光 男  
会 報 委 員 長 岩 橋 竜 介

## ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

2019~2020 年度 国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

第 2132 回例会 令和元年 10 月 21 日 (月曜日) 第 12 号

本日の例会 10月21日 (月) 第3例会

- 卓 話 『ローターアクトについて』
- スピーカー 国際ロータリー2660 地区 IM  
第4組ガバナー補佐 加茂 次也様  
東大阪ロータリークラブ  
ローターアクト委員長 市村 優次様
- 本日の献立 軽食カレー

次回の例会 10月28日 (月) 第4例会

- 卓 話 『未 定 』  
担当: 岩崎 史郎会員
- 本日の献立 和 食

前回の例会 10月10日 (木) 第3例会

2019-20 年度ガバナー公式訪問  
3クラブ合同例会

幹 事 報 告 浅野 光男

1. 東輪会ゴルフコンペが11月15日(金)、太子カントリークラブにおきまして開催されます。多数のご参加をよろしくお願いいたします。また、ホストクラブの東大阪西ロータリークラブの皆様にはお世話をお掛け致しますが、宜しくお願い致します。
2. 2019-20 年度米山奨学生レクリエーション、宝塚歌劇観劇と懇親会が10月27日(日)に開催されます。米山奨学生は参加をお願い致します。
3. 「秋のライラセミナー」が11月2日(土)~4日(月・祝)の2泊3日の日程で「サントリー箕面トレーニングセンター」(大阪府箕面市)において開催されます。ご参加の方は宜しくお願い致します。

4. 2019-20 年度地区大会が12月13日(金)と14日(土)の2日間、リーガロイヤルホテルおよび大阪国際会議場において開催されます。

本日、地区より地区大会実行委員の田中様と上林様がPRに来られています。後ほどよろしくお願いいたします。

出 席 報 告 小川 委員長

本日の会員数	19名
本日の出席者数	11名
本日の出席規定適用免除会員	11名
本日の出席率	73.32%
9月9日の修正出席率	94.11%

二 三 三 箱 報 告 SAA 伊藤 雄一

佐井会長 四宮ガバナー、ようこそお越し下さいました。



浅野幹事 四宮ガバナー、ようこそお越し下さいました。

## 第 2660 地区ガバナー 四宮 孝郎様

マーク・ダニエル・マローニーRI 会長テーマ

“ROTARY CONNECTS THE WORLD”

～ロータリーは世界をつなぐ～



マローニー会長はこのテーマを決めるにあたり、次のような思いを語っておられます。

**『ロータリーを通じて、私たちはつながります。』**

ロータリーで私たちは、お互いの違いを超え、深く、意義あるかたちでお互いにつながることができます。ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちとのつながりをもたらしてくれます。

私たちは互いに、また地域社会とつながり、同じクラブの会員だけでなく、私たち全員が属する世界的コミュニケーションの人たちとつながっています。

ロータリーでの体験の中核にあるのが、このつながりです。それがあから、私たちはロータリーに入会し、ロータリーにとどまるのです。ロータリーを成長させる方法も、つながりがあります。そして、これが 2019-2020 年度のテーマです。

比類なき基盤を有するロータリーを通じて私たちは、人類の素晴らしい多様性につながり、共通の目的を追求しながら末永く深い絆をつくり出します。』

この身近な言葉で語られている RI 会長テーマに基づ

き、2019～20 年度

第 2660 地区年次目標を 6 項目掲げました。

### 1. クラブビジョンの策定

近年、国際ロータリーでは、柔軟性と多様性が強調されており、大きな潮流の変化は加速度的に進んでいます。その為私たちの地区、及びクラブの地域特性、歴史、規模に合った独自のビジョンを策定する必要があります。

まずクラブ内の分析をしなければなりません。

- ◆ 年齢分布表 (10 年前・5 年前・現在)
- ◆ 平均年齢 (10 年前・5 年前・現在)
- ◆ 過去 10 年間の入退会者数

この分析結果をもとにクラブ内で話し合う機会を作り、会員相互で問題意識を共有しましょう。そして「変えてはならないロータリー」「変えなければならないロータリー」を各クラブにて明確にしましょう。

### 2. 会員基盤の強化を計る

職業分類制度を今一度見直し、男女の構成比、及び年齢別分類の分析をもとに、多様な会員の入会を促進する必要があります。一方で会員が退会する原因を把握し、その改善に努めなければなりません。

### 3. ポリオ撲滅への協力

ポリオ撲滅はロータリーの最優先事項であり、世界中で撲滅されるまで、この活動を続けなければなりません。

### 4. ロータリー財団への寄付増進

- ◆ 年次基金 1 人あたり 150 ドル
- ◆ ポリオ基金 1 人あたり 50 ドル
- ◆ 恒久基金  
ベネファクター 各クラブ 1 人以上

### 5. 米山記念奨学会への寄付増進

- ◆ 1 人あたり 3 万円

### 6. 公共イメージの向上を計る

IM ロータリーデーやクラブ事業等を利用して、会員以外にロータリーに触れて頂く機会を設けることを強く推奨致します。

- ◆ My Rotary 登録率 60%以上
- ◆ クラブセントラル活用率 75%以上

## クラブへの強調事項

### ①効果の持続性が期待される有意義な奉仕事業（活動の絞込み）

近年、残念ながら会員数が減少しているクラブにおいては、各奉仕部門の委員会を兼務されている委員長もおられます。その状況でも充実した奉仕活動を実践されていることは素晴らしいことですが、とすれば単に過去の活動の踏襲に陥り、検証すれば実際のニーズと離れたものになるケースがあるかもしれません。

今年度は、再度検証され、奉仕活動を絞り込み、より一層有意義な活動をされることも選択肢の一つとして推奨致します。

### ②ロータリーファミリーの絆を深める

ロータリーファミリーとは、青少年奉仕部門（インターアクト・ローターアクト・青少年交換・RYLA）や米山奨学生、財団奨学生等ロータリープログラムのメンバー、並びに卒業・経験者であるロータリー学友の人達を表します。

このロータリーファミリーの絆を深めることが、これからのロータリーを支える礎となります。様々な機会を捉えて会員の方にファミリーの活動を知って頂きましょう。

### ③ロータリー賞の獲得を目指す

ロータリー賞の獲得は決して困難なものではありません。目標を立て、是非各クラブが獲得されるように目指して下さい。

私は、次年度地区スローガンを設定するにあたり、2つのことを思い描きました。

### ①常に相手の目線に立ったロータリーの奉仕活動を

私たちは奉仕活動をする際、常に相手の方に寄り添い、同じ目線に立って計画し、実施して参りましょう。これにより真のニーズが把握でき、より実りの多い活動となることでしょう。そして感動と共に奉仕の喜びを分かち合ひましょう。

### ②新会員と共に

入会3年未満の会員の退会理由には、様々なものがあると思いますが、真の理由は「寂しさ」にあると思います。新しい仲間へ寄り添い、新たな友人が出来た喜びを分かち合ひましょう。それがロータリーの発展にもつながります。

そこで地区スローガン

**“Stand By You”～あなたと共に～**

を掲げました。

これからの1年間クラブの皆様と共に考え、悩み、歩み、そして楽しんでまいりたいと思っております。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。



# マートンチャリティーサイン会

